

弘前市立博物館 ニュースレター

No. 13

令和6年6月号

Hirozaki City Museum Newsletter

■「博物館の初夏もの語り」も終盤です。

5月に開幕した企画展1「博物館の初夏もの語り」も、残すところあと10日ほどとなりました。博物館の職員も、グッズを製作したり、展示作業に追われたりと、始まる前から忙しく過ごしていました。一つの展覧会をつくりあげるのは、なかなか大変なものだとしみじみ思います。



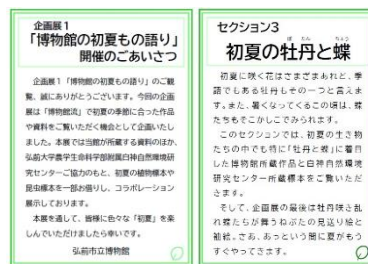
▲玄関のパナー。これも、館員の手作りです。

初夏を感じるさわやかな展覧会の終わりとともに、津軽に暑い夏がやってきます。展覧会の終わりを前にすると、少し寂しい気持ちにもなるとともに、次の展覧会への期待も膨らみます。

来月からは「発掘された日本列島2024」が開催されます。考古ファン必見の展示ですが、どなたにも楽しめるよう工夫されていますから、皆さんでおいでください。館員一同、お待ちしております。(館長 熊谷)

■「博物館の初夏もの語り」小嘶：パネルデザイン

5月に引き続き、現在企画展「博物館の初夏もの語り」を開催中です。前号では本展の見どころを簡単にお話しさせていただきましたので、今回は「こんな細かいところ気づかないよ！」なポイント…展示の「解説パネル」についてのコラムです。



▲解説パネル見本。(原版はB2)

今回のメイン解説パネルは企画展示スペースに全部で4枚配置しています。さて、このパネルは緑を基調にしたほぼ同じデザインなのですが、一か所だけデザインが違う点があります。どこが違うか分かりますでしょうか…？正解は、パネル右下の「葉っぱの色の濃さが違う」でした！上の2枚以外のものも、実は濃さが少しずつ違うのです。

今回の企画展の全体テーマは「初夏」ですが、さらにこの展示の中で意識したこととして「初夏の中でも時系列を表現する」ことでした。そのため、パネルの1枚目は薄い緑と

し、徐々に濃くなって4枚目は濃い緑になるように調整しています。並べてみると一目瞭然ですが、展示室内ではパネル同士が離れているので、気づいた方はあまりいなかったのではないのでしょうか。会期終了までもう少し日にちがありますので、これからご覧になる方、もう一度ご覧になる方はぜひ注目してみてください。(初夏展担当学芸員 工藤)

■企画展関連講座「津軽地方の春夏の植物」を開催しました

6月22日(土)、「博物館の初夏もの語り」にご協力いただいた弘前大学白神自然環境研究センター准教授の山岸洋貴先生による企画展関連講座を開催しました。テーマは「津軽地方の春夏の植物」。先生自身も広いテーマを取り過ぎたとおっしゃられていましたが、早春から初夏にかけて当地方で見られるさまざまな植物のお話をいただきました。



▲講座のようす。

講話の中では、例えば広い範囲で揃って咲くブナの花や日に向かって自分を温かくするフクジュソウ、あるいは自ら発熱するザゼンソウなど、普段の当館の展示などで知ることができない植物の知識が満載！ユニークな話題が語られる中でも、外来種であるニセアカシアの広まりが白神山地の自然に迫っている危機感なども合わせてお話しされました。また企画展に関連した部分では、山岸先生からオススメいただき数点を展示させていただいているスミシの仲間に関するお話もありました。参加者の皆さんも先生の豊富な知識と軽妙な語り口に興味津々で聞き入っていました。

(初夏展担当学芸員 工藤)

■ 次回展示予告：「発掘された日本列島2024」

前号でお知らせした令和6年度特別企画展「発掘された日本列島2024」のポスターが完成しました！



▲ポスター画像

現在、「発掘された日本列島2024」の準備は詰めの段階に入っており、具体的な資料配置や作業工程などを館内や関係各所と調整をおこなっています。

本展の会期は7月27日(土)から9月16日(月・祝)まで。今年の夏は弘前市立博物館の考古学がアツい！皆様のご来館をお待ちしております。(「発掘された日本列島2024」担当学芸員 三國)

■ 市内の小学生・中学生は入館料が無料です。

学校の見学だけでは物足りなかった皆さん。弘前市内の小学生・中学生はいつでも入館無料なのをご存じでしたか？

しかも、7月27日(土)から8月25日(日)の「親子観賞会」では、弘前市内の小・中学生と一緒に来館した保護者の方1名も観覧料が無料となります(学生1人につき保護者1人)。この機会に、ぜひ子どもたちと一緒に博物館を見学してください。きっと新しい発見がありますよ！

(館長補佐 川村)

■ ロビーを模様替えしました☆

現在開催中の企画展「博物館の初夏の語り」オープンに合わせて、博物館ロビーを模様替えしました。またコロナ禍以来、飲食を禁止していた博物館ロビーで飲み物のみ飲むことができるようになりました。(食事は引き続きご遠慮いただいております)もちろん、水筒などをお持ちになった飲み物もお飲みいただけます。

暑い日も増えてきましたので、ロビーの椅子に寄りかかって、新緑を眺めながら冷たい飲み物でゆっくり過ごしてみるのはいかがでしょうか？(講座などで一時的にご利用いただけない場合もございますので、事前にご確認ください)

(主査兼学芸員 小田桐)



▲模様替え後の館内の様子。

■ 今夏の冷房設備について

弘前市立博物館と弘前市民会館の2館共用空調設備に不具合が発生しており、今夏の冷房が十分に稼働せず、快適な温度環境でご利用いただけない場合があります。来館される皆様には大変ご不便ご迷惑をおかけ致しますこと、深くお詫び申し上げます。修理完了が確定いたしましたら、改めてご案内致します。

■ 展示替え休館のお知らせ

弘前市立博物館は7月8日(月)から7月26日(金)まで展示替えのため休館いたします。この期間は常設展を含めて博物館内をご覧いただけません。ご利用の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。なお、次回展示の令和6年度特別企画展「発掘された日本列島2024」の会期中は休館日無しとなります。